

取組事例 町の魅力発信と満足度高いサービス提供に向けた観光受入体制の整備 (豊浦町)

豊浦町では、(一社)噴火湾とよら観光協会の観光地域づくり法人化(現状:候補法人)に向けて、観光コンテンツ造成や観光施設の運営・管理一元化を実施することで、交流人口の増加を目指している。

関連数値目標・KPI

	基準値 (R元)	実績 (R4)	目標値 (R6)	進捗率 (%)
観光入込客数	41.1万人	31.6万人	40.0万人	67.3%
新たな体験 プログラム数	16 (累計)	26 (累計)	5 (累計)	480.0%

取組の推進体制

役場、観光協会、いぶり噴火湾漁協、とうや湖農業協同組合、洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会などが緊密で連携することで、地域の水産業や歴史・文化などを観光素材として活用し、観光コンテンツの造成・販売等に取り組んでいる。

修学旅行による町への来校数(累計)



特徴的なコンテンツをターゲットとした修学旅行等の入込が増加し、DMO化に必要な運営資金の安定した確保に大きく寄与。

取組事例 観光受入体制の整備

観光コンテンツ造成

- 主な取組
 - ・地域の特産品ホタテを活用した教育旅行向けコンテンツを造成。
 - ・ホタテが食卓に届くまで、どのように育てられるかを案内するとともに、「TOYOURA世界ホタテ釣り選手権大会」を疑似体験。
- 主な成果
 - ・各媒体でのPRに加え、TV番組でも取り上げられ、修学旅行の来校増加にも大きく寄与。



各種公園やキャンプ場の一元的な運営・管理

- 主な取組
 - ・礼文華海浜公園キャンプ場内にアイヌ文化情報発信施設「イコリ」と木造トレーラーハウス(宿泊)を設置。
 - ・運営・管理を「イコリ」に一元化することにより効率的な運営体制を構築。
- 主な成果
 - ・キャンプ場にアイヌ文化などの新たな付加価値を追加。集客の幅が広がり、入込客数増加に寄与。

